

CT テクノロジーフォーラム 2019 参加報告

華岡青洲記念病院 山口隆義

皆様こんにちは。まずは、ご報告です。この度、華岡青洲記念心臓血管クリニックは、華岡青洲記念病院となりました。病床は 37 床 (ICU4 床) で、放射線部門としましては、一般撮影に加えてキャノン 320 列 CT が 2 台、3TMRI1 台、カテーテル血管撮影 2 台、ハイブリッド OR1 台が稼働しております。中でも CT は、キャノンが誇る Aquilion ONE PRISM Edition と spectral imaging system を搭載した GENESIS Edition であり、どちらも deep learning reconstruction (DLR) の AiCE が使用できます。ご興味のある方は、是非、見学にいらして下さいませ。

さて、今年の CT テクノロジーフォーラムは、当番世話人が金沢大学の市川教授という事もあり、テーマを「基礎に立ち返る」として、CT の基本を改めて学べる内容で構成されておりました。特に、Basic lecture 2 の「最低限知っておきたい臨床応用のための基礎」は、これから CT の研究を行いたい全ての診療放射線技師にとって大変貴重な講演内容であったと思います。現在、我々の施設でも最新 Aquilion の画質特性を確認中であり、とても参考になりました。その後の Application lecture 「基礎から応用へ」では、デュアルエネルギーCT、DLR、CT 被ばくが取り上げられ、今注目の新しい技術である DLR に関しては、広島大学病院の西丸先生から AiCE の画質特性および臨床画像が紹介され、こちらも大変参考になる内容でした。勿論、Special lecture 「膝疾患の CT 画像診断」も素晴らしいご講演でした。

終了後は、ナイトカンファレンスが行われ、各演者の皆様と楽しくお話させて頂きました。というのも、この CT テクノロジーフォーラムは、エーザイ株式会社本社で行われ、その模様が日本全国の各地域にサテライト中継されます。本来であれば私も札幌で聴講と

ということになるのですが、同週末にキヤノンメディカルシステムズの「画論 27th」が開催されたため東京での参加となりました。今年の「画論」の CT 部門に関しては、北海道の“受賞者なし”という寂しい結果でした。キヤノン CT ユーザーの皆さま！是非、来年も多数の画論への応募をお願い申し上げます。



演者の皆様との懇親会